

吊りバルコニーのもつ  
機能、意匠、床構造の  
『ここまで出来る』を魅せます。



HANG BALCONY



可能性を引き出す

住宅内の快適な空間の一つとしての「吊りバルコニー」の可能性を追求します。



頑健な排水設計

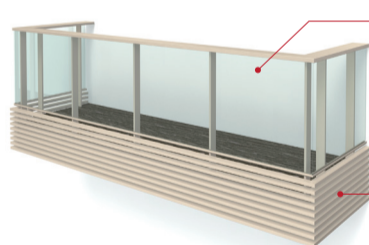
床はアルミ材を採用した2段階の排水構造。



幅広いサイズ展開

幅は形材の組合わせ・奥行は切断寸法で多様な床のサイズ展開を可能にします。(最大制限あり)

透明ガラスパネルを使用し、『後付けバルコニー』のイメージを変える



透明ガラスパネル

透明ガラスパネルを採用しました。高級感、開放感があり、採光性もえられます。

横格子パネル

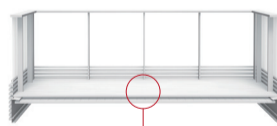
風通りを良くする工夫と、外からの視線を程良くカットできます。

アルミ床の特徴・ポイント

1 不燃材のアルミ

準防火地域、22条地域にてハングバルコニーを屋根同様に扱われた際にも設置が可能です。

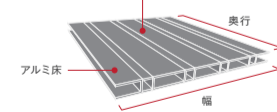
\*パネルの素材や取り付ける建物によっては行政判断で対応が異なる場合があります。



デッキ仕上げで室内床レベルと合わせる事で居室からのプラスαとして広く魅せる工夫

2 奥行サイズ展開

アルミ押出形材を使用することで、幅サイズだけでなく、奥行方向へのサイズ展開を可能にします。吊りバルコニー単体として1.25Pまでの空間確保が可能(1P=910モジュール)



3 賢実な排水設計

2段階の排水構造で、確実に排水経路へ水を流します。

